

## ○名鉄広見線活性化への取り組みについて

## 1. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）のこれまでの経緯概要

名鉄広見線概要	営業キロ：	7.4km
(新可児駅～御嵩駅)	駅数：	5駅(有人駅:新可児)
	運行本数：	(平日)80本/日、(土休日)72本/日、基本ダイヤ2本/時
	列車組成：	2両
	利用者数：	平成11年度 1,827千人/年
		平成21年度 1,009千人/年
		平成22年度 995千人/年
		平成23年度 967千人/年

H19年11月2日 名鉄側から、年間赤字額が2億円を超え、このままでは、この路線を維持できない旨の申し出があった。

H20年5月2日 第1回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を開催  
可児市、御嵩町、八百津町が名鉄広見線の存続問題に対する対応策を調査、協議することを目的として設立

H21年2月23日 第4回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を開催  
名鉄の運行を前提に、協議会の組織・団体が、利用者を増やすための施策を展開し、併せて名鉄への運行費支援を検討していくことを決定

H21年7月9日 第5回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を開催  
平成22～24年度までの3年間で年間利用者数を約120千人増加させ、約1,111千人とすることを決定し、併せて名鉄の赤字補填として年1億円（御嵩町7千万円、可児市3千万円）の支援を行っていくこととした。

H22年3月29日 第7回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を開催  
対策協議会を活性化協議会に名称変更し、住民・経済団体、行政、国・県、事業者がそれぞれ主体となって、名鉄広見線活性化計画に基づき、利用促進策を実施していくことを決定した。

H22年4月1日～ 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会に名称を変え、活性化計画に基づき、広見線利用促進のための具体的な事業を実施中

## 2. 名鉄広見線活性化計画の目標

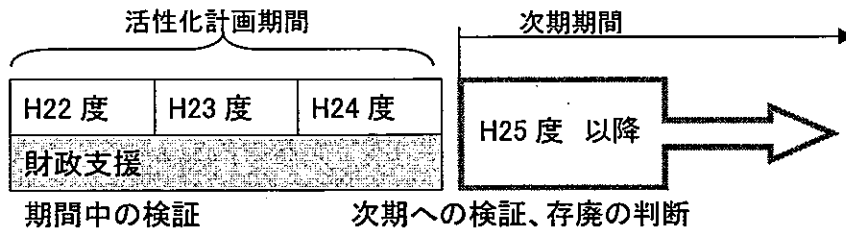
### 1) 活性化の基本的考え方

利用促進策を展開し、輸送人員の段階的な増加を図り、収支改善を進める。

▼活性化計画の期間 平成 22 年度から平成 24 年度までの 3 年間

計画期間では、利用者の減少に歯止めをかけて増加に転じさせる。

また、この間の利用者数の推移や収支の状況、取り巻く環境変化などについて総合的に評価を行い、存廃の判断を含む平成 25 年度以降の対応について協議する。



### 2) 利用者増加目標数値

▼目標期間（平成 22 年度～平成 24 年度）の利用者目標数値について

平成 22 年度から関係者それぞれが主体的に連携を図りながら利用促進等を実施する。これにより平成 24 年度には、年間輸送人員の目標を 1,111 千人とする。

ただし、通学定期については、あらたな利用者増は見込まず、底打ち感も見られ、平成 21 年度以降、横ばいに推移するものとした。

- ・通勤定期：3 年間で新たに 58 千人増やす。
- ・定期外：3 年間で新たに 62 千人増やす。

<利用者増加策を行わず、現状のまま推移した場合>

年 度	
輸送人員 (千人/年)	通 勤
	通 学
	定期外
	合 計

H22	H23	H24
279	276	273
536	514	493
181	170	160
996	960	926

<目標数値（単位：千人）>

H22	H23	H24
308	327	331
558	558	558
216	221	222
1,082	1,106	1,111

### 3) 目標を達成するための施策

#### 利用促進策の展開

名鉄広見線対策協議会に参画する団体・組織をはじめとする関係者が、主体的に、また連携を図りながら利用促進策に取り組む。

表 名鉄広見線の活性化に向けた施策メニュー

施策の方向	施策の区分	具体的な施策メニュー(例)
1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進策	1) 遠足、社会見学等における利用促進	● 学校行事での利用促進
	2) 学生・生徒による活性化	● 学生・高校生中心とする利用促進
2. 経済団体(商工会・商工会議所、観光協会等)を主体とする利用促進策	1) まちづくり等との連携	①既存のまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進 ● 御高町産業祭 ● みたけの森ささゆりまつり
		②新たなまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進 ● ハイキング・ウォーキング(名勝・旧跡めぐり) ● 観光バスツアー ● スタンプラリー ● イベント企画提案事業
	2) 広見線そのものの魅力の向上施策の展開による利用促進	③駅周辺における交流拠点整備 ● 御高駅周辺賑わい創出 ● 駅・列車を用いたイベント ● 名産品等のグッズ販売 ● 広見線利用が特典となる仕組み
3. 移動環境の整備による利用促進	—	①乗り継ぎ機能の強化 ● パークアンドライド用駐車場の充実・利用促進 ● サイクルアンドライド用駐輪場の利用促進 ● 運行時刻や乗り継ぎ情報、周辺施設情報等の提供 ②駅アクセス利便性の向上 ● シャトルバス等の運行 ● レンタサイクルの実施
4. 住民団体・サポーター制度	—	● 組織づくり ● 支援拠点の設置、充実
5. 通勤等での利用促進	—	● 通勤時、出張時の利用促進
6. 意識啓発	—	● ワークショップ等による意識啓発 ● モビリティ・マネジメントの実施

#### 4) 計画の推進体制

本計画は、名鉄広見線活性化協議会を中心に、以下に示す経済団体、各種団体及び地域住民、交通事業者が一体となって具体的利用促進策を実施するものとする。

図 名鉄広見線利用促進推進体制図



#### <期待される役割>

主体	期待される役割
住民、地域自治組織、経済団体、事業者、関係団体 など	現在又は将来において、公共交通を利用する主体であり、かつ自ら公共交通を支える主体としての意識を持って、直接・間接に受益者として利用者増加策に積極的な参画と協働を行う。
行政	住民の生活を支えるべき基礎自治体として、住民の移動手段を確保するため、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の維持存続に努め、住民など関係者とともにも名古屋鉄道と連携を図り、利用者増加策に取り組む。
国・岐阜県	名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用者増加策への支援と助言を行う。
名古屋鉄道株式会社	公共交通サービスの直接の供給者であり、市町が取り組む利用者増加策の具体化に向けた事業調整に参画するなど可能な範囲で協力する。

名鉄広見線活性化協議会利用促進事業利用者数のまとめ

項目	実施内容	利用者数(H22年度)	利用者数(H23年度)	備考
1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進	・社会見学、体験学習など ・保育園行事など ・夏休みプール(定期券購入)	(18団体) 2,312 人 (24団体) 2,031 人 (御嵩小) 1,380 人 小計 5,723 人	(17団体) 1,973 人 (19団体) 1,650 人 (御嵩小) 1,080 人 小計 4,703 人 前年度比 82.2 %	H23年度目標値 5,840人 対目標値比 80.5 %
H24年度目標値 5,840人				
2. 経済団体を主体とする利用促進	・ミタケクエスト ・エピアガーデン ・Wind連携事業 ・わいわい館活用交流事業 ・観光案内所活用交流事業 ・映画会&ウォーキング ・映画会Ⅱ ・御嵩町環境フェア2012/可児市環境フェスタ ・兼山歴史ウォーク2012 ・フォトコンテスト ・団体運賃助成制度 ・YAOバス団体運賃補助制度 ・回数乗車券購入助成制度	(町主催) 2,520 人 (3回開催) 518 人 262 人 1,000 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 (11団体) 697 人 - 人 - 人 小計 5,047 人	(6日開催) 444 人 (6回開催) 1,900 人 - 人 120 人 98 人 323 人 252 人 164 人 306 人 - 人 (20団体) 822 人 (3団体) 74 人 (77名) 1,469 人 小計 5,972 人 前年度比 118.3 %	H23年度目標値 8,760人 対目標値比 68.2 %
H24年度目標値 8,760人				
3. 移動環境の整備による利用促進	・御嵩駅前駐車場利用 ・E-COバス運行事業 ・レンタサイクル事業	18,650 人 32,847 人 239 人 小計 51,736 人	19,278 人 (3月分未集計) 33,738 人 348 人 小計 53,364 人 前年度比 103.1 %	H23年度目標値 77,410人 対目標値比 68.9 %
H24年度目標値 93,370人				
4. 住民団体・サポーターによる利用促進	・ささゆりまつり ・ささゆりまつりウォーキング ・よってりやあみたけ ・御嵩町産業祭 ・中山道ウォーク ・かもいグランプリ ・御嶽宿こいのぼり事業 ・流しそうめんの聖地PR事業 ・絆コンサート ・御嶽宿のひなまつり ・あずさフェスタ ・着地型ツアー(日帰りウォーキング) ・御嶽宿伏見宿スタンプラリー ・キャンドルナイト&ジャズライブ ・活性化サポーター活動 ・御嵩町職員会事業 ・可児市互助会事業	862 人 4,367 人 1,132 人 (2日間) 290 人 800 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人 1,320 人 1,040 人 小計 9,811 人	180 人 2,305 人 1,102 人 200 人 510 人 2,188 人 2,500 人 600 人 318 人 2,000 人 280 人 204 人 218 人 120 人 31 人 1,320 人 - 人 小計 14,076 人 前年度比 143.5 %	H23年度目標値 2,190人 対目標値比 642.7 %
H24年度目標値 2,190人				
5. 通勤等での利用促進	・電車通勤モニター補助制度	(17名) 3,764 人	(33名) 6,300 人 前年度比 167.4 %	H23年度目標値 7,300人 対目標値比 86.3 %
H24年度目標値 9,490人				
合計		76,081 人	84,415 人 前年度比 111.0 %	
(H24年度)119,650人	(活性協目標利用者数)	63,840 人	101,500 人	
達成率		119.2 %	83.2 %	

### 3. 利用者数の状況

種別	H21年度	H22年度		達成率	H23年度		達成率	H24年度	
		目標値	実績値		目標値	実績値		目標値	実績値
通勤	264	308	266	86.4%	327	257	78.6%	331	
通学	559	558	536	96.1%	558	524	93.9%	558	
定期外	186	216	194	89.8%	221	186	84.2%	222	
合計	1,009	1,082	995	92.0%	1,106	968	87.5%	1,111	

### 4. 平成 24 年度取り組み内容

計画期間中の取り組みを検証し引き続き利用促進策に取り組むとともに、平成 25 年度以降の広見線のあり方について協議を行う。